

八重山教育情報

第8号

発行：沖縄県教職員組合
八重山支部
石垣市登野城7-2
官公労共済会館2階
TEL: (0980) 82-3264
E-mail: otu-y@cosmos.ne.jp

支部教研特集

笑顔あふれるワークショップ

十月十七日(土)に行われました支部教研「教育講演会」は浅野誠さんをお招きして、ワークショップが行われました。

いつもは三分しか話さない先生が十五分も話してくださいました!



輪になっていつもとは違う雰囲気での講演会でした
浅野さんの話につい引き込まれてしまいました

いつもと様子が違う雰囲気に集まったみなさんはかなり緊張されていたようでした。はじめの「アイスブレイキング」では、あいさつあり、ボディークションあり、スキンシップありでいつしか和やかな雰囲気に... 参加者の顔は笑顔でいっぱいでした。グループに分かれてのマップづくり、縦軸と横軸があり何の関係もないようなグラフにどの班も四苦八苦でした。何とができあがったものをみんなで討論し、いつしか時間が過ぎていきました。最後は、もっと聞きたいことや、考えたことと発見したことを紙に書き、浅野さんがひとつずついいねいに答えてくださいました。参加者全員、元気をもらうことができた講



疑問・質問にしっかり答えてくださいました



説明にもつい力が入ってしまいました
周りのみんなも真剣に聞き入っています

それぞれがいろいろな意見を出し合い和やかに進みました



ソウル
魂において頑固
マインド
心において柔軟
スピリット
精神において活発

＝ 教研の誓い ＝

私たち沖教組八重山支部は、平和を守り、真実を貫く民主教育の確立に向け、自主的・民主的な教育研究活動を進めてきました。

学校現場では、校内研修や教育課程研修、初任者研修など、自主性や選択の余地の認められない研修がたてつづけに行われています。そのため教材研究や授業の準備ができず、より質の高い授業を提供したくても非常に困難な状態にあります。

そのように教職員が自主的研修を勤務時間内に行うことは、ほとんどできない状況に追い込まれています。しかし私たち自身の教える楽しさと、子どもたちの学ぶ楽しさの保証のために、教研の灯を消してはいけません。

組織教研は、学校現場において、日々教育実践と研究を地道に取り組んできた教職員の、研究実践の成果をみんなで共有する大切な場です。どんなにすぐれた実践をしても共有できなければその真価を発揮することはできません。一人ひとりの実践は組織教研によって共有財産になります。

組織教研こそが教育の未来を照らす希望の灯です。

21世紀の世界を担う子どもたちの未来を明るく豊かなものにするために、私たちは憲法に基づいて平和を守り、真実を貫く民主教育を仲間とともに実践していくことを、本集会において誓います。

2009年10月17日
第56次沖教組八重山支部教育研究集会



分科会の前に全体集会在行われました。十三名という少ない人数でしたが、「基調報告」が提案され、「教研の誓い」が承認されました。多くの方の参加により、盛り上げてほしかったのですが、次年度への課題となります。

全体集会

幼年期教育部会

参加人数は3名でした。4月～10月までの実践の中で、共通のデータが残っていることからテーマを「食育」にしました。中央教研では、みやまえ、あらかわ、やえやまの3園、それぞれの取り組みを紹介したいと思います。

合同分科会

数学と障害児教育の2本のレポートが提出されました。

数学では教具を使った「参加する授業、分かる授業」を二中の又吉先生が発表しました。障害児教育では、名蔵中の橋田先生が「特別支援学級の体験学習の進め方」についてのレポートが提出されました。分野は違いますが、参加者がそれぞれのレポートについて熱い議論を行いました。

学校保健部会

レポートが一つ提出あり、その事例の中からいろいろな課題が挙げられ話し合いが持たれました。「給食会計事務の件」など、参加者が五名なので、もっと増えるといいですね。月に一度は定例研を持ちたいです。



学校事務部会

り、与那国からの参加も有意義な時間を過ごすことができました。これから人数を増やしていきたいです。

